

明けましておめでとうございます

JP労組新潟連協退職者の会

会長 戸田 庄一



会員の皆さまには、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

今年の夏、参議院議員選挙が行われます。

すでに会員の皆さまには、J P 労組の組織内候補である「しば慎一さん」の取り組みに、ご協力をいただいております。

コロナ禍にありながらも「しば慎一後援会」加入活動では、全国をリードする活動を展開していただいております。心から御礼申し上げます。

先の総選挙では、立憲民主党への支持の伸び悩みが明らかになりました。これは、新人候補である「しば慎一さん」にとっては厳しい現実であり、より一層の組織内への浸透が重要課題となりました。

連協退職者の会は、目標とする「会員×3名のご紹介」を早期に成し遂げ、確実に投票に結びつける取り組みをすすめます。

全世界に脅威をもたらした新型コロナウイルスの惨禍は、残念ながら今も続いています。日本も例外ではなく、多くの尊い命が奪われました。

安倍・菅政権の経済優先、場当たりの・専門家軽視の後手後手の対応が、爆発的な感染拡大を招いたと言えます。

コロナ禍の中で連協退職者の会は、総会・幹事会等の会議は開催してきましたが、懇親会・親睦会等は自粛を余儀なくされました。今後も、しばらくは同様の対応を続けざるを得ませんが、感染対策に十分な注意をはらい、会員（正会員及び協力会員）の拡大、そして夏の参議院議員選挙において「しば慎一さん」の勝利を得るため、力を合わせて頑張りましょう。

最後に、会員の皆さまが健康でお元気に過ごされることを祈念し、年頭のあいさつといたします。今年もよろしく願いいたします。

新潟連協は がんばるぞ！



(2021. 12. 14 新潟連協退職者の会 第1回支部代表者会議で「しば慎一さん」を囲んで)

新春のごあいさつ



J P 労組新潟連絡協議会

議長 福井 正史

明けましておめでとうございます。

J P 労組新潟連協退職者の会会員並びにご家族の皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の第49回衆議院総選挙では、J P 労組推薦候補の当選に向けたご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

結果は、残念ながら自民党の一強体制を変えることはできませんでしたが、1区・4区・6区で当選を果たすことができました。改めまして感謝申し上げます。立憲民主党の支持率が伸び悩んでいるなか、今後課題を残すところではありますが、この夏の決戦に向け、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、私は昨年7月のJ P 労組信越地方大会に於いて、地本専従執行委員の信任および、新潟連協議長の名指をいただきました。前任は、下越支部で支部長をしておりまして、ご存知の方もおられると思いますが、長野の地に赴任しおおよそ5ヶ月、慣れない仕事に懸命に取り組んでいるところです。会員である諸先輩の皆さまには、前任議長と変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

日本郵政グループでは、郵便法改正により昨年10月から土曜配達休止、本年2月からの送達日数繰り下げなどが進められているところですが、サービスレベルの低下とならないよう、また、組合員の負担が増えることのないよう労使交渉を行っているところです。

また、郵便局への新規採用数が大きく増えていないことや、65歳定年制の導入など、現役および退職者の会ともに、「組合員・会員の加入拡大」は喫緊の課題となっています。

私たち現役からの退職組合員への声掛けや情報提供は勿論のこと、引き続き現退一体となり取り組みを進めて参りましょう。

本年が、会員およびご家族の皆さまにとりまして、益々のご健勝とご多幸の一年となりますようご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。何卒よろしくお願い申し上げます。



J P 共済生協信越地方部

部長 米持 正道

あけましておめでとうございます。

退職者の会の皆さまには、健やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、J P 共済生協（ポストライフ）の取り組みにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症に悩まされた1年となりました。各種大会やイベント等の縮小・中止、飲食店等への営業自粛要請、三密の回避等、国民生活へも大きな影響を及ぼしました。

10月頃からは感染者数も大幅に減少し、ようやく収束に向かうかと思いましたが、その後、新たな変異株が発見されるなど、まだまだ予断を許さない状況は続きそうです。

引き続き、ご自身をはじめ、ご家族の皆さまの感染予防対策を徹底され、お元気で毎日をお過ごしいただければと思います。

また、昨年は、東日本大震災から10年という歳月を数えましたが、完全なる復旧・復興にはまだ多くの時間が掛かりそうです。

この間も全国各地では大きな災害に見舞われており、信越においても、長野市で2019年10月に千曲川の堤防が決壊するなど、災害は、いつ・どこで起きてもおかしくない状況は続いています。万が一への備えは適切か、改めてご確認いただきたいと思ひます。

コロナ禍で不便な生活は続きそうですが、本年が皆さまにとりまして、ご健勝で幸多き一年となりますようご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。



長寿で健康 生き生きコーナー



学びの意欲が 健康の秘訣

定年を数ヶ月残し59歳で長岡局を最後に退職、
やがて82歳となる今、多方面で才覚を発揮している

中越支部 長岡ブロック の

今井仁之助 さんを紹介します

退職後、再び高校に学ぶ

特異なことに、この人、退職した途端、もう一度高校受験を目指し、みごと合格。

4年間の勉学を終え、県立定時制を成績優秀で卒業の経験を持つ。受験願書のため伺った母校の中学校校長が、昔の同級生だったことが分かり、その校長がビックリしていたとのエピソードも。

その向学心は、はんばではない。

退職後、行政事務所開業

郵便局に41年間在職し、業務に精励しながらその忙しい中、独学でコツコツ学んで周囲が知らない間に行政書士の資格を取得。

退職をきっかけに行政事務所を開業。数々の相談に関わり、とりわけ私たち会員家族の終末の相談や遺産問題などで力を尽くして感謝されてきた。

また、時々には会報を通じて遺産相続や終末問題をやさしく解説するなど、貴重な存在となっている。

放送大学校に挑戦中

また、強い向学意欲はその後、放送大学校にまで向かい、教養学部全6コースの内、既に4コースを完了。ここまで十数年を要したが、今も5コース目の終了を目前に頑張っている最中。

やがて、放送大学グランドスラム(放送大学教養学部全6コースを取得した人に与えられる)を手にすることも夢ではなさそうだ。

まさに生涯、学習意欲を欠かさない人だ。

ボタニカルアートを楽しむ

ボタニカルアートをご存じでしょうか。植物の精細密画のことで、古くはヨーロッパで盛んになったもので、元々は薬草を見分けるための、細密図譜がはじまりとのこと。

6年ほど前からカルチャー教室で学び始め、実物を見ながら、構造や特徴の微細部を正確に表現し、鮮やかな色彩で描く手法はみごとなもの。

これまで描きためた原図はきれいに整理保存されていて、一部はパソコンで絵はがきにもされ、もらった人を楽しませている。



(平成31年3月作成のフキノトウのボタニカルアート)

努力が若さを保っている

数々の学びと同時に、体力維持にも気を使ってきた。退職後には水泳教室にもずうっと通い続け、82歳にして未だ髪はふさふさで、白髪を見ないほど。まさに学び続ける意欲が若さの秘訣、努力し続けることが健康の秘訣らしい。

(文責 藤山 清)

俳句・短歌・川柳
写真・書道・絵画
手作り作品・絵手紙

を募集しています。応募は、葉書か適宜な用紙に「作品・支部・氏名」を記入。
また、絵画・書・手作り作品は、写真に撮って封書で送付下さい。

〒951-8799 新潟中郵便局内 J P 労組新潟連協 退職者の会 まで郵送

第1回支部代表者会議を開催

「しば慎一後援会」加入目標（会員×3名）、昨年末で達成！

昨年の12月14日、長岡市「まちなかキャンパス長岡」において、新潟連協退職者の会「第1回支部代表者会議・第2回連協幹事会及び共済研修会」を開催しました。

会議開始前、第2回の連協幹事会を開催し、役員交代について、運営規則に則って連協幹事と会計監査の2名について、確認されました。

旧 連協幹事	金勝 隆保さん	(直江津)
新 連協幹事	池上 一義さん	(直江津)
旧 会計監査	苅部 梶一郎さん	(新潟)
新 会計監査	米田 秀逸さん	(新潟)

今回の会議には、昨年の4月に開催した支部代表者会議で、今夏の参院選出馬への決意表明のために来越した「しば慎一」さんが、2度目となる新潟入りで、改めて決意と支援を呼びかけました。あいさつの後は、早速、長岡局に向かい、直接、組合員へのお願いに走り回りました。



また、しば慎一さんの出身連協の神奈川連協退職者の会から、会長はじめ3名が、新潟連協の進んでいる取り組みを参考にしたいと、会議終了までオブ参加しました。



(田戸幹事 久川会長 坂田事務局長)

参院選への対応では、

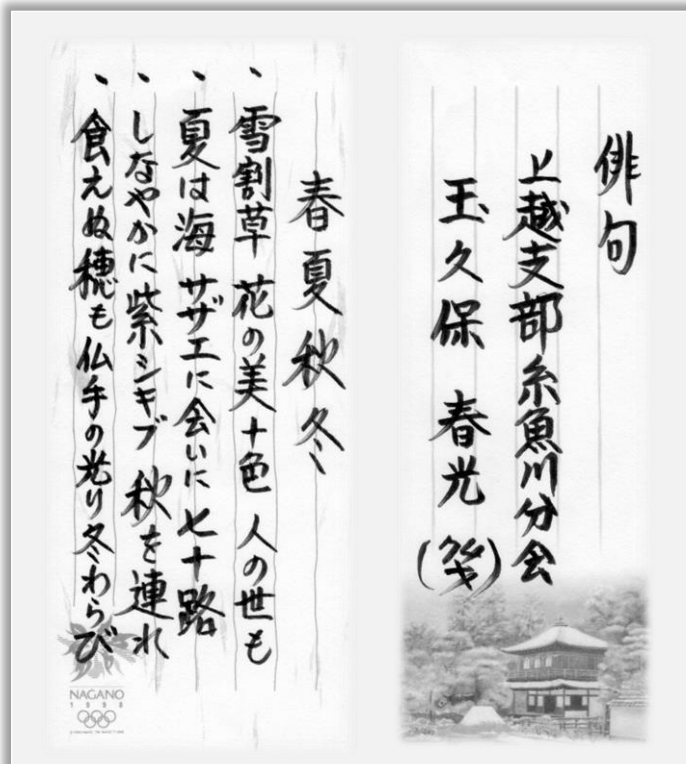
- ① 第三次集約：12月24日正午まで
- ② 会員宛の「年賀状」の発送準備状況
- ③ お礼状と後援会ニュースの発送
- ④ 年明け以降の取り組み

(最終集約：3月末日、4/9大規模集会等)などが、山田事務局長から提起され、各種取り組みが順調に推移していることを確認しました。

そして、第一次・第二次集約の取り組み経過と、第三次集約(12/24)に向けての、現在の手持ち票数が各支部から報告されました。

その結果、12月14日現在、連協全体で1人3票の後援会加入目標を超え(102%)、昨年末での目標達成を図ることができました。

投稿コーナー



会員拡大の取り組みでは、

- ① J P 労組の年間方針をふまえ、「現退一体」の連携を強化していきます。
- ② 新潟連協の取り組みは、現役の春闘集会やしば選挙集会等、現退一体の全体会議及び支部単位の個別打合せを実施します。

高齢ドライバーの免許更新制度について

共済研修会

J P 共済生協信越地方部の米持正道部長を講師に、現在、社会問題となっている「認知症」など、高齢者の運転技能の衰えによる、交通事故と免許更新制度について、動画で学習しました。

一定の違反歴のある75歳以上の免許更新時に行う認知機能検査の模擬試験を全員やっては見たものの、記憶力の低下を実感した人が続出。



事故を未然に防ぐため免許を諦めるか、記憶力を蘇らせるかは、あなた次第です。

お知らせコーナー

新入会員をご紹介します

よろしくお願いたします

(2021年11月) (敬称略)



加入日	支部	お名前
11月1日	中越	小川良文
11月1日	中越	秋田正則

県内全支部の慶弔者名を掲載します

おめでとうございます

(2021年10月～11月) (敬称略)

慶事	月	お名前	支部
喜	10月	高野宏平	新津
		遠藤暁司	新津
		井沢栄一	西蒲原
		堀沢忠美	魚沼
		中村繁	上越
		渡邊國男	上越
寿	11月	石井裕	新潟
		長谷川久子	新潟
		須貝勝栄	下越
		井上強	下越
		星野勇治	上越

お悔やみ申し上げます

(2021年10月～11月) (敬称略)
(9月分もれを含む)

月	お名前	支部	ご逝去日
9月	後藤澄枝	西蒲原	9月17日
10月	嶋倉強	佐渡	6日
	川上栄一	中越	19日
	春谷兼治	上越	19日
	梶沢春雄	中越	21日
	佐藤イシ	下越	22日
	長谷川昭朗	下越	23日
	渡辺一男	下越	24日
	佐藤實	中越	24日
11月	池田一男	中越	25日
	佐藤昭三	新潟	2日
	小林芳朗	中越	25日
	波多野ミイ	下越	27日
池亀昭次	上越	29日	

言葉の区切りが難解

(出典：間違えると恥ずかしい日本語 500)

× 良心におとる → ○ 良心にもとる

「もとる」は「忖る」と書き、道理にそむく、物事の筋道に合わない、反するという意味がある。これを、良心が劣っているという意味だと勘違いしてか、「良心におとる」という人がいるが、大間違い。理不尽な暴挙に対して、義憤にかられて口にした言葉が「それは良心におとる行ないだ」では格好がつかない。

× 魚心、あれば、水心

→ ○ 魚、心あれば、水、心あり

「魚心」と「水心」をひとつの熟語のようにいう人が多く、辞書にもそのように載っているが、元来は、「魚、心あれば、水、心あり」と切っていた。魚に水と親しむ心があれば、

水もそれをくみとって応じる心を持つだろうということ。相手が好意を示せば、こちらも相手に好意を持つという意味だが、今では贈収賄など、後ろめたさのある場面で使われることが多い。

× 五里霧中(ごり・むちゅう)

→ ○ 五里霧中(ごりむ・ちゅう)

「五里霧中」。意味は、現在の状態もわからず、今後の見通しが全く立たないということだが、問題はその読み方。ほとんどの人が「ゴリ・ムチュウ」と読むが、正しくは「ゴリム・チュウ」だ。「五里霧」とは、五里四方にも及ぶ深い霧という意味で、その「中」にいと、前後の判断がつかなくなるということなのである。